

新小谷木橋 NEWS

【Vol.10】 令和3年6月発行 編集：岩手県南広域振興局土木部



世界遺産平泉
PRキャラクター「ケロ平」

岩手県が「復興支援道路」として奥州市水沢で整備を進めている一般国道397号小谷木橋工区について、「事業の見える化」の取組みとして現在の進捗状況等をお知らせします。

～小谷木橋工区の工事進捗状況をお知らせします～

一般国道397号小谷木橋工区では、架橋から70年近く経過して老朽化が著しく、幅員が狭く車両のすれ違いが困難な交通隘路となっている小谷木橋（595.3m）の架替を行ってきました。

新しい橋（新小谷木橋：597.0m、以下「新小谷木橋」という。）は、現在の小谷木橋から約130m上流に計画し、平成27年11月から下部工を進めて来ましたが平成30年9月までに全ての下部工（橋台2基、橋脚9基）が完成しました。

上部工は平成30年12月から架設工事に着手し、令和2年1月17日の桁架設作業を持って閉合（連結）しました。その後、グレーチング床版架設・床版コンクリートの工事を令和2年7月末で完了し、橋面舗装・道路照明灯を工事し、令和3年4月に完成し、橋梁前後の道路改良工事を進め、**新小谷木橋は令和3年5月31日に開通しました。**

新小谷木橋開通に伴い、**小谷木橋の撤去作業に着手**しており、また迂回路の撤去作業や橋詰広場の整備など、残る工事を進めます。工事中はご迷惑をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願いします。

令和3年5月撮影



～新小谷木橋が開通しました！～

一般国道397号新小谷木橋は、令和3年5月31日（月）15時に開通しました。開通に先立ち、10時から五月晴れのもと開通式を開催し、奥州市長、県議会議員、市議会議員などの地元代表者や、岩手河川国道事務所長をはじめとする関係機関の約40人が出席しました。開通式では、奥州市長、郷右近県議会議員から御祝辞をいただき、羽田地区新橋架橋期成同盟会の佐藤会長からは新小谷木橋の完成に寄せる期待の言葉をいただきました。その後、テープカットとくす玉開披が行われ、県南広域振興土木部の道路パトロールカーを先頭に、車両による通り初めが行われました。



開通式典の様子



佐々木県南広域振興局長式辞



小沢奥州市長祝辞



郷右近県議会議員祝辞



白旗土木部長事業経過報告



佐藤会長期待の言葉



新型コロナ対策の徹底



テープカット・くす玉開披



道路パトロールカー先導
によるパレード

～新小谷木橋開通イベントとして橋梁ウォーキングを開催しました！～

令和3年5月31日の新小谷木橋の開通に先立ち、開通イベントとして令和3年5月22日に地域住民を対象とした橋梁ウォーキングを開催しました。

橋梁ウォーキングには奥州市水沢羽田地区から51名、常盤地区から31名の皆さんに参加していただきました。参加者には、受付の際に検温と手の消毒を行ってもらい、イベント中はマスクの着用をお願いして、新型コロナウイルス感染症拡大防止を徹底して開催しました。

橋梁ウォーキングでは小谷木橋工区の概要説明を行った後、羽田地区の住民は左岸側から、常盤地区の住民は右岸側からそれぞれ出発し、橋梁に設けられたバルコニーにおいて地区住民ごとでドローンによる記念撮影を行いました。

参加者の皆さんには、車道を含めた橋梁上を自由に歩いていただきながら、思い思いに写真を撮るなど、イベントを楽しんでいただきました。また、参加者からの橋梁に関する質問や新橋への期待の言葉から、本イベントを通して新小谷木橋の開通を実感していただいたと感じました。



受付では検温と手の消毒を行ってもらいました



職員の説明を熱心に聞いてもらいました



ドローンによる記念撮影も行いました



減多に歩く機会のない車道を歩いてもらいました

【問合せ先】

岩手県 県南広域振興局土木部 道路整備課

〒023-0053 岩手県奥州市水沢大手町1-2 電話番号：0197-22-2881(内線351)